

**daito**

# プリンター搭載 マネーカウンター オルガⅡ DW-02

## 取扱説明書



製品に関するお問い合わせは下記までお願い致します。

**daito** 株式会社 **ダイト**

本社：〒112-0014 東京都文京区関口3-4-3  
サービスセンター：〒332-0006 埼玉県川口市末広2-15-20

URL <https://www.daito-inc.co.jp/contact>

## ■ごあいさつ

本書は、プリンター搭載マネーカウンター オルガII DW-02を快適にご使用いただくためのガイドブックです。ご使用前に必ず本書をお読みください。読み終わった後も大切に保管し、必要なときに読み直しできるようにしてください。本書の内容は予告なく変更されることがあります。本書の内容についてご不明な点などがございましたらご連絡ください。

## ■目次

1.はじめに	
1-1.本製品の特徴	2
1-2.カウント対象とカウントイメージ	2
1-3.カウントの限界値	2
2.安全上のご注意	3
■長くご使用いただくために	5
3.内容物及び本体の名称	
3-1.キーボードの解説	6
4.セットアップ	
4-1.ホッドを取り付ける	7
4-2.充電	7
4-3.カウント前の準備	8
4-4.スcoop重さ登録方法	8
5.操作方法	
5-1.操作方法	9
5-2.オートスクロール機能	10
5-3.集計画面の表示	11
6.カウント方法	
6-1.バラ硬貨カウント方法	12
6-2.バラ紙幣のカウント方法	13
6-3.棒金のカウント方法	15
6-4.商品券やはがき、その他券類などの登録、カウント方法	17
7.印刷	
7-1.印刷方法	19
7-2.プリンターメンテナンスについて	19
8.計算データ	20
9.トラブルシューティング	20
■「故障かな?」と思う前に...	21
10.メンテナンス	
日時の設定方法	22
11.製品保証書	23
12.仕様	24

## 1.はじめに

### 1-1.本製品の特徴

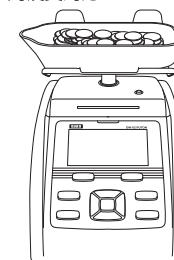
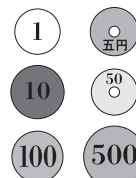
(※令和3年発行の新500円硬貨対応)

- ・日本で現在発行されている貨幣※や商品券などを重さでカウントするカウンターです。
- ・カウントする度自動で金種を切り替えることができ、種類の多い日本で現在発行されている貨幣をカウントするのに便利です。(オートスクロール機能)
- ・自動で総合計金額の計算をします。(自動加算機能)
- ・約6時間充電で最大約10時間連続使用可能なリチウムバッテリーを内蔵。
- ・一定時間操作をしないと、自動で電源が切れる省エネ設計です。(自動電源OFF機能)

### 1-2.カウント対象とカウントイメージ

#### 1.日本硬貨の6種バラ

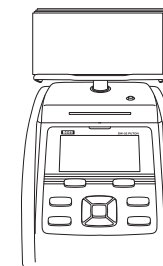
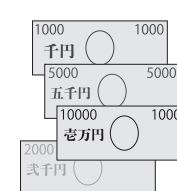
(1円、5円、10円、50円、100円、500円硬貨)  
※令和3年発行の新500円硬貨対応



カウント方法は  
p.12

#### 2.日本銀行券4種バラ

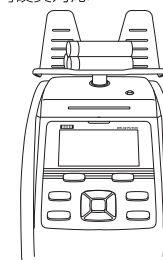
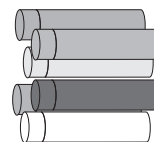
(千円、五千円、一万円、二万円札)



カウント方法は  
p.13

#### 3.日本硬貨の6種棒金

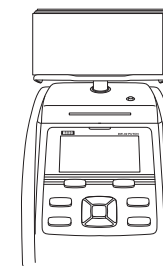
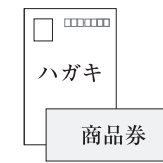
(1種50枚セットでフィルム包装のもの)  
※令和3年発行の新500円硬貨対応



カウント方法は  
p.15

#### 4.商品券やはがき、その他券類等

(1枚の重さが約1~4gでホッドに載る大きさのもの)



登録・カウント方法は  
p.17

### 1-3.カウントの限界値



(最大荷重容量) 硬貨...約2.1kg

紙幣...約300枚







## 2.安全上のご注意

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。  
 またお読みになったあと、本書はいつでも記載内容を確認できるような場所に保管してください。  
 本書を紛失等で確認できなくなった場合は、弊社サービスセンターへお問い合わせください。  
 ここに示した注意事項は、お買い上げの製品を安全にお使いいただき、製品による人の身体や財産への損害を未然に防ぐために、安全に関する重要な内容を記載していますので必ず守ってください。





















ここでは取り扱いを誤った場合などの危険の程度を、次の2つのレベル(警告・注意)に分類しています。

	<b>警告</b> この表示は、記載内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が重傷を負う可能性が想定されるときに使用します。
	<b>注意</b> この表示は、記載内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性が想定されるときに使用します。 または、物的な損傷が発生する可能性が想定されるときに使用します。

### 《その他の絵表示、ピクトグラフ表示例》

	△記号は、警告(注意も含む)を促す内容があることを示しています。 右の例は、一般的な警告、注意事項を示しています。	
	○記号は、禁止行為を示しています。 ○の中には、禁止されている内容が表示されます。 右の例は、分解禁止を示しています。	
	●記号は、作業時などに行為を強制または指示する内容があることを示しています。 ●の中には具体的な強制事項の内容が表示されます。 右の例は、コンセントからプラグを抜く行為の強制を示しています。	

## 2.安全上のご注意

 <b>警告</b>		
 分解禁止	部品を改造したり、部品を変更して製品に取り付けしないでください。 また、取扱説明書に開閉指示のない箇所およびネジなどで固定しているカバー、部品等を取り出さないでください。 火災、感電、故障、けが等の原因になります。	
 電源プラグを抜く	製品から発煙したり、異常な臭い、音がしたら、すぐにコンセントから電源プラグを抜いてください。 そのまま使用を続けたり放置すると、ショートしたり、火災や感電等の原因になります。 弊社サービスセンターへお問い合わせください。	 禁止
 禁止	製品の内部や隙間に、クリップやステープラー針等の金属片を落とさないでください。 製品内部の電気回路に接触すると、火災や故障等の原因になります。	 禁止
 強制	電源プラグは、コンセントに完全に差し込んで使用してください。 差し込みが不十分の状態で使用すると、ショートしたり、発熱、火災、感電等の原因になります。	 禁止
 禁止	電源コードに重いものをのせたり、熱源の近くを通したり、曲げたり、ねじれたままコンセントに差し込まないでください。 電源コードに傷がついて、火災、感電、故障等の原因になります。	 強制
 禁止	延長コードの使用やタコ足配線はしないでください。 火災等の原因になります。	 禁止
 電源プラグを抜く	長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。 ほこりがたまって、発熱、火災、故障等の原因になります。	 強制
		 禁止
		 禁止
		 禁止
		 強制
		 禁止
		 強制

## 2.安全上のご注意

### 注意

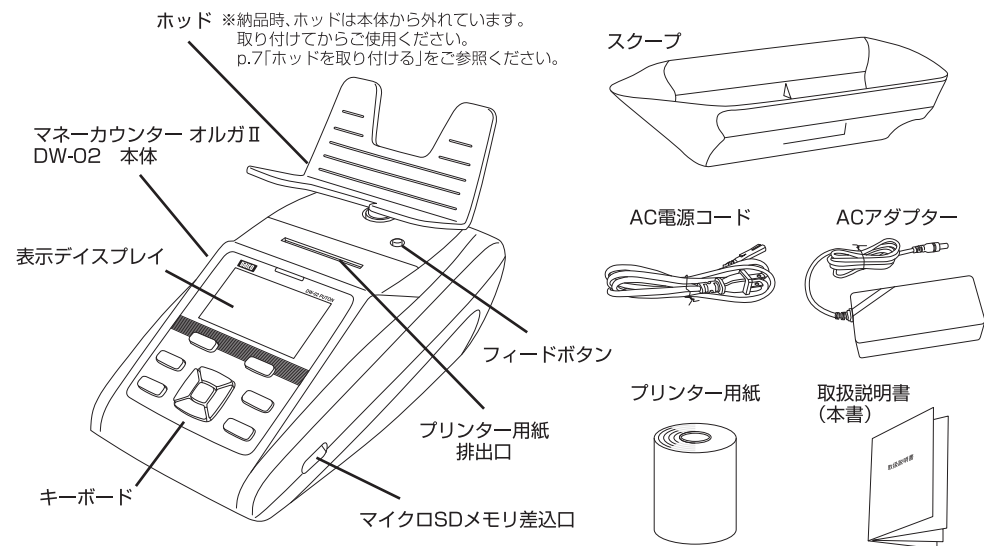
<p><b>禁止</b></p> <p>以下のような場所で使用しないでください。 火気の近く、湿気やほこりの多い場所、振動の激しい場所、平らでない場所、落下の可能性のある場所、直射日光の当たる場所、冷暖房機の近く、水のかかる場所、強い磁気や静電気が発生する場所。火災、感電、故障等の原因になります。</p>	<p><b>強制</b></p> <p>製品が水没したときは、使用せず弊社サービスセンターへお問い合わせのうえ修理、点検を依頼してください。そのまま使用すると火災、感電、故障等の原因になります。</p>
<p><b>強制</b></p> <p>設置、ご使用の際は、製品や搭載プリンターの操作や開閉が十分可能な空間をお取りください。 操作中に製品が身体に当たってけがをしたり、製品の破損や故障等の原因になります。</p>	<p><b>注意</b></p> <p>製品に、カウント対象以外のものをのせないでください。 製品に傷が付いたり、破損や故障等の原因になります。</p>
<p><b>注意</b></p> <p>製品に貼付されている、ラベルおよび取扱説明書の指示に従ってください。誤った操作をして、けがをする恐れがあります。</p>	<p><b>注意</b></p> <p>製品の取り付けや取り外し、搭載プリンターの開閉時に、手や指を挟まないように注意してください。キーボードの操作は指で行ってください。 また、製品に必要以上に強い力を加えないでください。破損や故障等の原因になります。</p>

### 長くご使用いただくために

長くご使用いただくために、次のような場所への設置は避けてください。  
また、次の事項は製品の老朽化を早め、故障や誤動作の原因になります。

- 屋外でのご使用は避けてください。
- 直接日光のあたる場所は避けてください。
- 温度変化の激しい場所、製品の一部の温度が上昇する場所は避けてください。
- 振動の多い場所、風やほこりのある場所、不安定な場所は避けてください。
- 高温多湿の場所は避けてください。
- 製品に必要以上に強い力を加えないでください。
- 長期間で使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜き、使用時と同様の環境下に保管してください。

## 3.内容物及び本体の名称



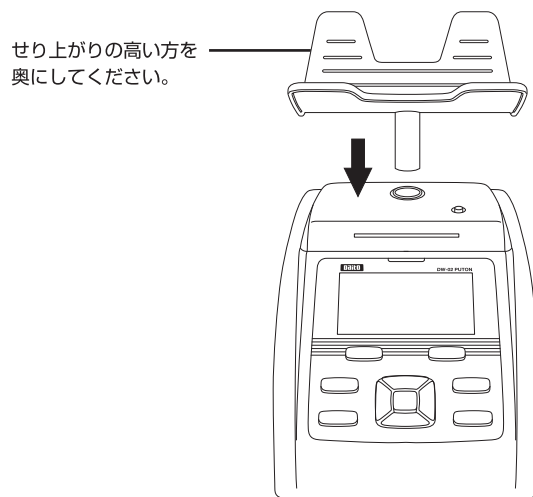
### 3-1.キーボードの解説

キーボード	キーの名称	キーの主な役割
	電源キー	約1秒押すと、電源をON/OFFします。
	メニューキー	各種メニューを開きます。設定項目等もこのボタン内のメニューから行います。
	クリアキー	小計クリア:約1秒押してください。 ディスプレイにクリアと表示されて小計がクリアされます 総合計クリア:約2秒押してください。 総合計がクリアされます。ディスプレイの表示が「0」になります。
	トータルキー	計数結果に関連した項目を表示します。 計数結果をマイクロSDメモリに保存、本体メモリに保存、またはプリントアウトもこのボタンから行います。
	紙幣キー	計数を行うカウント対象の変更を行います。 ボタンを押すと紙幣のカテゴリに切り替えられます。 また、前画面に戻るBackにも使用します。
	硬貨キー	計数を行うカウント対象の変更を行います。 ボタンを押すと硬貨のカテゴリに切り替えます。 ▶ボタンを押すと棒金の計数に切り替えることができます。
	フィードボタン	プリンター用紙の送りを行います。 (プリンター用紙がなくなるとフィードボタンが緑色に点滅します。)
	OKキー	各項目の決定を行います。
	▲▼キー	各項目を選択、カウント対象の変更、調整などに使用します。
	◀▶キー	各項目を選択、カウント対象の変更、調整などに使用します。
	マイクロSDメモリ差込口	計数結果を保存するマイクロSDメモリを挿入することができます。

## 4.セットアップ

### 4-1.ホッドを取り付ける

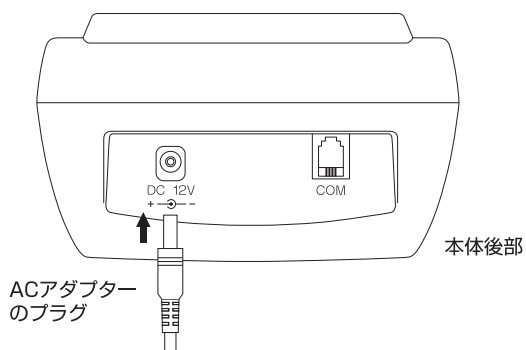
DW-02本体を、振動がなく風やほこりのない、水平で安定した場所に設置してください。  
正確にカウントできない、エラーが起きる等の原因となります。  
ホッドを下図の向きで持ち、矢印方向に止まる所までゆっくりと差し込んでください。



※強い力を加えたり、無理に押し込むと故障の原因となります。  
取り外しは取り付けた時と同様に垂直にホッドを引き抜いてください。

### 4-2.充電

AC電源コードとACアダプターをつなぎます。  
DW-02本体後部裏側の左側のコネクタにACアダプターのプラグを  
しっかり差し込んでください。



バッテリーの充電が始まり、バッテリーが十分にある状態では緑色のLEDが点灯します。  
また、バッテリーが残り少なくなると、赤色のLEDが点灯します。  
また、充電時も赤色のLEDが点灯します。満充電になると緑色に変化します。

約6時間充電を行うことで、約10時間の連続稼働が可能です。

LEDが赤に点灯  バッテリーが残り少ない または 充電中  
LEDが緑に点灯  バッテリーが十分にある または 満充電

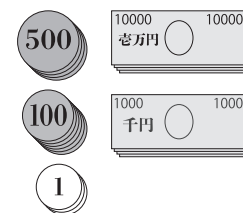
## 4.セットアップ

### 4-3.カウント前の準備

1.本体を振動がなく、風やほこりのない、水平で安定した場所に設置してください。  
振動を感知すると「ファンテイデス」の表示がでて、ピープ音で通知します。  
本体を移動する際はスクープ、ホッドの脱落に気を付けて移動してください。



2.カウントする、硬貨、紙幣、券類を同種ずつ選別してください。混合した金券や券類は正しくカウントできませんので、ご注意ください








3.以下のような紙幣や硬貨、券類は事前に取り除いておいてください。

- ・皺(しわ)、汚れがひどいもの
- ・破れ、削れがあるもの
- ・湿ったもの(水に濡れたもの)
- ・ゴミやテープが付いたもの
- ・カウント対象外の貨幣

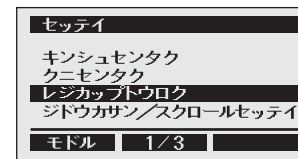


### 4-4.スクープの重さ登録方法

スクープのエラーが発生したり、重さが変わった場合や、他の容器をスクープとして使用する場合はスクープの重さを登録してください。

- ホッドに何も載せていないことを確認し、電源キー  を押して電源を「ON」にしてください。
- メニューキー  を押してからセッテイを開き、  
▲▼キー  でレジカットウロクの項目へ移動し、OKキー  を押します。
- セッテイを選択し、ホッドにスクープを載せます。  
画面の指示に従ってOKキー  を押して、スクープの重さを測定します。
- スクープの重さが登録されて完了です。

※日付設定方法はP22を参照してください




## 5. 操作方法

### 5-1. 操作方法

1. 表示ディスプレイが消えていることを確認してください(電源「OFF」の状態)

2. ホッドに何も載せていないことを確認してください。電源「ON」の前はスcoopは載せないでください。  
また、AC電源コードとACアダプターをつないでいる場合、ホッドにコード等が触れていないことを確認してください。



3. 電源キー  を約1秒押しすると、電源が「ON」になります。ディスプレイに機種名、ソフトウェアバージョン、設定してある地域が表示され、約1秒後以下のような初期カウント画面が表示されます。

**金種計量方法**  
カウント対象の金種と計数を行う方法について表示しています。画面では1円硬貨をバラで計数する表示になっています。

**小計枚数**  
計数した各硬貨、各紙幣の小計枚数を表示します。

**小計金額**  
計数した、各硬貨、各紙幣の小計金額を表示します。

**総合計金額**  
計数したすべての金種の合計金額を表示します。

**日付け、時間**  
現在の時刻、日付けを表示します。プリントアウトした際に印字されるタイムスタンプになります。  
※設定方法はP22を参照してください。

1 JPY × 0  
= 0  
コウカ 21-Aug 16:00

4. 電源キー  を約1秒長押しすると電源が「OFF」になります。


ACアダプタを使用せず、バッテリー稼働中に6分間何も操作がなければ自動で電源が「OFF」になります。

## 5. 操作方法

### 5-2. オートスクロール機能

カウント対象物が全て降ろされ、ホッドが空になると、金種カウント画面が自動で切り替わります。

また、紙幣、硬貨キー   や▲▼キー   でカウントしたい金種を手動で選択することも可能です。



硬貨計数モードで▶キー  を押すと棒金を計数するモードに移ります。

◀キー  を押すと硬貨計数モードに戻ります。

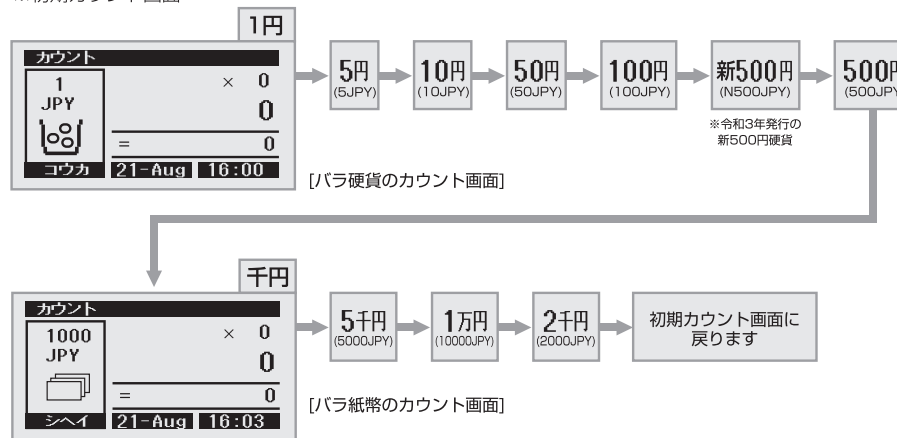
カウント対象物が全て降ろされ、ホッドが空になると、金種カウント画面が自動で切り替わります。

下図のように1金種を計数し終わるごとに次の金種へ項目が移り変わります。

▲キー  や▼キー  ボタンで金種を任意に変更できます。

硬貨キー  で1円、紙幣キー  で1000円の項目から入力していくことができるようになります。

※初期カウント画面



## 5. 操作方法

### 5-3. 集計画面の表示

1. トータルキー **TOTAL** を押すと計算結果に関するメニュー (ケイスウケッカ) が表示されます。  
※図1参照

2. ▼キー **▽** で「ケイスウケッカヒョウジ」を選択し、OKキー **OK** を押すと、硬貨(バラ)の集計結果が表示されます。  
各金種の小計、各金種の合計が共に表示され、金種ごとに閲覧することができます。表示しきれない金種は▼キー **▽** を押してスクロールすると表示されます。  
※図1,2,3参照

3. ▶キー **▶** を押すと紙幣の集計結果が表示されます。各金種の小計、各金種の合計が共に表示され、金種ごとに閲覧することができます。  
※図4参照

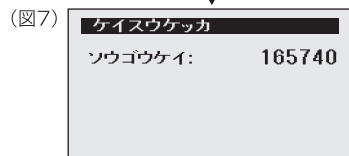
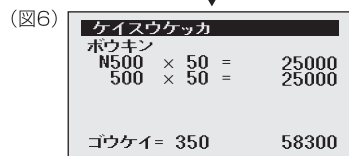
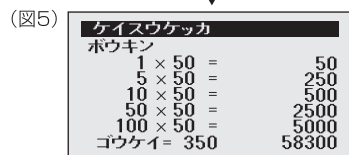
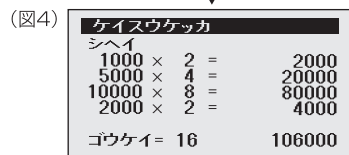
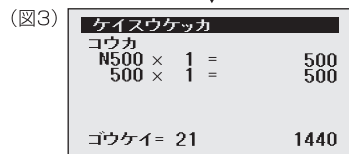
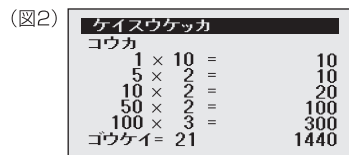
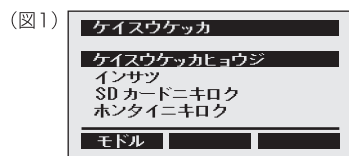
4. 続けて▶キー **▶** を押すと棒金の集計結果が表示されます。各金種の小計、各金種の合計が共に表示され、金種ごとに閲覧することができます。  
※図5,6参照

5. 続けて▶キー **▶** を押すと総合計を表示します。  
※図7参照

6. トータルキー **TOTAL** を押すと前画面へもどることができます。

※集計画面表示中は印刷を行うことはできません。

◀キー **◀** を押すと前の画面に戻ります。



## 6. カウント方法

### 6-1. バラ硬貨カウント方法

1. ホッドに何も載せていないことを確認してください。  
スクープも載せないでください。

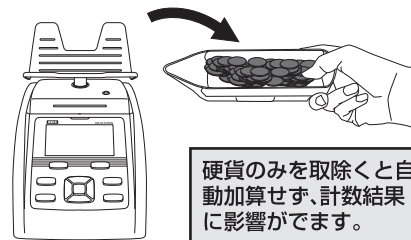


2. 硬貨キー **硬貨** や▲▼キー **▲ ▼** でカウントする金種を選択します。

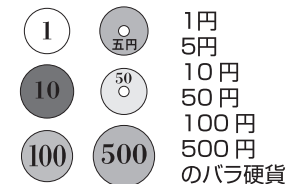
3. 硬貨を載せたスクープをホッドに載せます。  
表示ディスプレイに枚数と小計、合計が表示されます。



4. 硬貨を載せたスクープを下ろし、ホッドが空になると「ジドウカサン」の表示があり、計数が完了します。  
オートスクロールがオンになっていれば自動で次の硬貨の種類へと切り替わります。



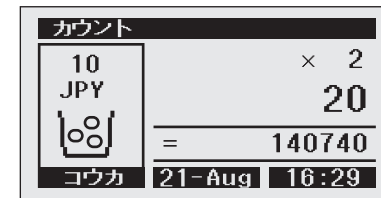
#### カウント対象



※令和3年発行の新500円硬貨対応

新旧500円硬貨のカウントは、それぞれのカウントになります。  
混合でカウントをすると誤計数の原因になります。

例: 10円の場合の画面表示



※例: 10円の次は50円に切り替わります。



## 6. カウント方法

### 6-2. バラ紙幣のカウント方法

1. ホッドに何も載せていないことを確認してください。  
※紙幣のカウントではスクープは使用しません。



2. 紙幣キーや▲▼キー で  
カウントする金種を選びます。

3. 紙幣をホッドに載せます。

- 1 度に最大20枚まで載せることができます。
- 1 度の目安最大20枚を載せていくと約300枚程度まで載せることができます。
- 「20 マイオーバー」と表示された場合は1度に載せる量が多いというエラー表示ですので1度に載せる量を減らして再度計数してください。

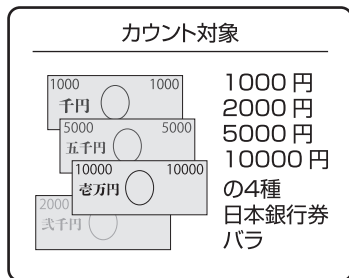


1度に載せる枚数は  
最大20枚程度です。

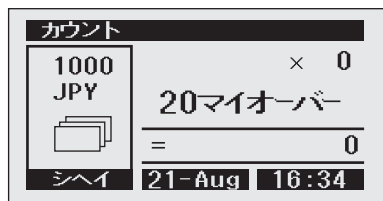
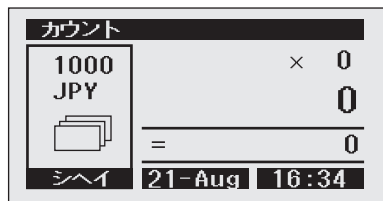


少なめの枚数を  
繰り返し  
載せてください。

最大約300枚まで載ります。



例: 1000円計数の場合



誤計数の原因になります。  
以下のような紙幣、券類は事  
前に取り除いておいてくださ  
い。

- ・皺(しわ)、汚れがひどいもの
- ・破れ、削れがあるもの
- ・湿ったもの(水に濡れたもの)
- ・ゴミやテープが付いたもの
- ・カウント対象外の貨幣

等

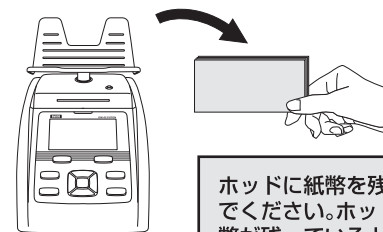


## 6. カウント方法

4. 表示ディスプレイに枚数と小計が表示され、自動で総合計も計算されます。



5. 載せた紙幣を降ろしホッドが空になると「ジドウカサン」の表示があり、計数が完了します。  
オートスクロールがオンになっていれば自動で次の紙幣の種類へと切り替わります。



ホッドに紙幣を残さない  
でください。ホッドに紙  
幣が残っていると計数結  
果に影響があります。



## 6. カウント方法

### 6-3. 棒金のカウント方法

1. ホッドに何も載せていないことを確認してください。  
※棒金のカウントではスクープは使用しません。



2. 硬貨キー を押す、  
もしくは▲▼キー で  
硬貨計数画面を表示させ、▶キー で  
棒金計数メニューを表示させます。

棒金硬貨計数画面

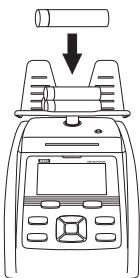
カウント	
JPY	× 0
	0
=	0
ポウキン	21-Aug 16:46

3. 金種を自動検知するのでカウントする順番は任意です。

棒金を1本ずつホッドに載せてください。

2本以上同時に載せると「スウリョウエラー」と表示され計数できないので、

1本のみを残し、残りを全て下ろしてください。その後、1本ずつホッドに載せてください。(★)

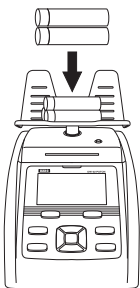


1本ずつ  
載せてください。



金種の異なる  
棒金も同時に  
カウントできます。

最大負荷  
約2.1kg<sup>※</sup>まで  
載せることができます。  
※100円棒金8本分相当

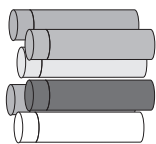


2本以上同時に  
載せないでください。

(★)

カウント	
JPY	× 0
	スウリョウエラー
=	0
ポウキン	21-Aug 16:46

### カウント対象



1種50枚セットで  
フィルム包装のもの  
※500円も50枚1セットとして  
のみ計数可能。  
※令和3年発行の新500円硬貨対応

## 6. カウント方法

4. 表示ディスプレイに金種、枚数、小計が表示され、自動で総合計も計算されます。



※例：1円棒金、10円棒金、  
100円棒金の順に  
載せた場合

カウント	
1 JPY	× 50
	50
=	50
ポウキン	21-Aug 16:48

5. 全ての棒金を1度に降ろしホッドが空になると  
総合計を残して計数が完了します。

棒金の計数結果はそれぞれの棒金の小計に  
表示されます。(ケイスウケツカ画面)

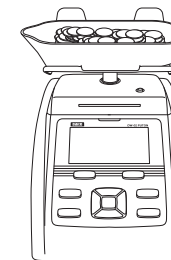
カウント	
10 JPY	× 50
	500
=	550
ポウキン	21-Aug 16:48

※「スウリョウエラー」と表示される場合は  
棒金が2本以上同時に載っている場合や、  
想定されていない重さのものが  
載っている場合表示されます。

カウント	
100 JPY	× 50
	5000
=	5550
ポウキン	21-Aug 16:48

(★)このエラーメッセージが、特定の棒金で繰り返し表示される場合は、  
その棒金はバラし、バラ硬貨としてカウントしてください。

カウント	
JPY	× 0
	スウリョウエラー
=	0
ポウキン	21-Aug 16:46



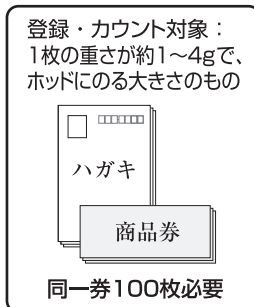
バラ硬貨のカウント方法は  
p.12をご参照ください。

## 6-4. 商品券やはがき、その他券類などの登録、カウント方法

- ・ 5種類のはがきや券類などが登録できます。
- ・ 同時に同一券を100枚ご用意ください。

<ご注意>

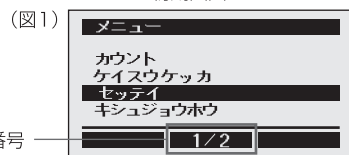
例、ハガキでも切手の貼付け有無、厚み違いを混合で計数すると重さでカウントをするため、誤計数の原因となります。



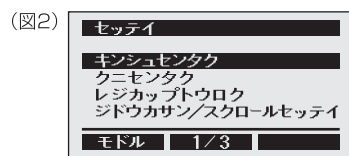
## 6-4-1. 券類の重さを登録する

1. 電源は「OFF」の状態では何もしないことを確認してください。  
※商品券やハガキ、その他券類の登録・カウントではスクープは使用しません。

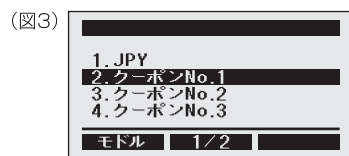
※メニュー初期画面



2. 電源キー を押して電源を「ON」にしてください。

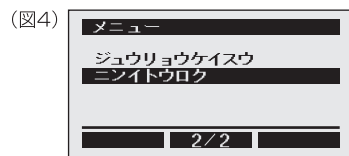


3. メニューキー を押しメニュー初期画面を開き、  
▲▼キー で「セッテイ」を選択し、  
OKキー を押して「キンシュウセンタク」のメニューへ  
※図1,2参照



- 2番から6番に クーポンNo.○と表示  
されているものをOKキー を押し選択します。  
※図3参照

- その後、メニューキー を2回押し、  
(図1)のメニュー初期画面に戻ります。  
2ページ目にある「ニンイトウロク」のメニューを開きます。  
※図4参照

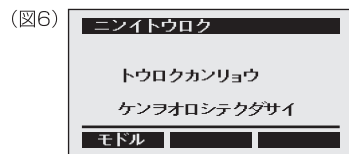


4. 「ニンイトウロク」の「スタート」 キーを押します。  
※図5参照



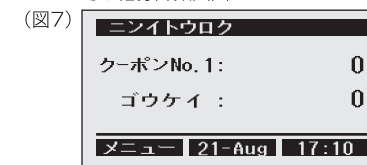
5. ホッド上に登録する同一券を100枚載せ、  
「スタート」 キーを押します。  
※図5参照

6. ホッド上から同一券100枚を降ろすと、登録が完了します。  
※図6参照



7. 計数画面に戻ってクーポン計数画面になっていることを確認してください。  
※図7参照

その他券計数画面



8. 硬貨、紙幣計数と同様に、ホッド上に登録した券を乗せ、  
降ろすことで計数結果合計が表示されます。  
※図8参照



9. 計数し直す場合は、クリアキー を1回押すと  
すべての合計枚数をクリアし、0に戻します。

その後再度計数し直してください。

10. 日本円の計数をする際は、  
メニューキー を押して、セッテイ画面に入り、  
「キンシュウセンタク」からJPYを選択して、OKキー を押します。  
計数画面に戻ると、日本円の計数ができます。

※1.更新しない限りは、1度登録したクーポンNo.は登録されています。

※2.クーポンNo.1~No.5に登録したカウント対象物は忘れないようにメモなど記録してください。

## 7.印刷

### 7-1.印刷方法

- 1.トータルキーを押下するとインサツメニューがあるので  
選択してOKキー **OK** を押します。
- 2.現在計数されている結果が項目ごとに印刷されます。  
※「N500」は令和3年発行の新500円硬貨です。

右図のように硬貨バラ、紙幣バラ、棒金、総合計の順で表示されます。印刷した用紙には設定してある日時のタイムスタンプが押されます。クーポンNo.1～No.5に登録した券類などの印刷は別に行う必要があります。硬貨・紙幣と一緒に印刷はできません。

- 3.印刷後、計数結果を消去する場合は、  
カウント画面に戻りクリアするか、電源を「OFF」にしてください。

※印刷例

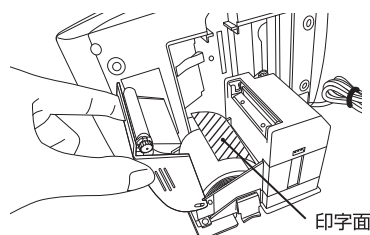
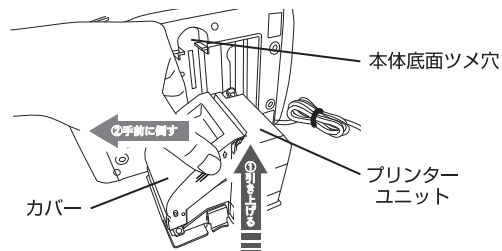
ケイスウケツカ		
コウカ		
1 x 80 =	80	硬貨の カウント 結果
5 x 21 =	105	
10 x 18 =	180	
50 x 20 =	1000	
100 x 17 =	1700	
N500 x 5 =	2500	
500 x 6 =	3000	紙幣の カウント 結果
ゴウケイ	8565	
	-167	
シヘイ	1000 x 2 = 2000	
	5000 x 4 = 20000	
	10000 x 7 = 70000	
	2000 x 4 = 8000	
ゴウケイ	-17	100000
ボウキン		
1 x 50 =	50	棒金の カウント 結果
5 x 50 =	250	
10 x 50 =	500	
50 x 50 =	2500	
100 x 50 =	5000	
N500 x 50 =	25000	
500 x 50 =	25000	
ゴウケイ	= 350	58300
ソウゴウケイ		166865
	Date: 21/08/2030	
	Time: 17:17:28	
	Ref: 095	

### 7-2.プリンターメンテナンスについて

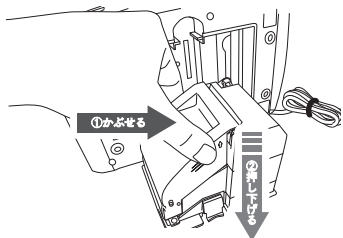
DW-02にはプリンターが搭載されています。  
計数結果を印刷することができます。

#### プリンターのセットアップ

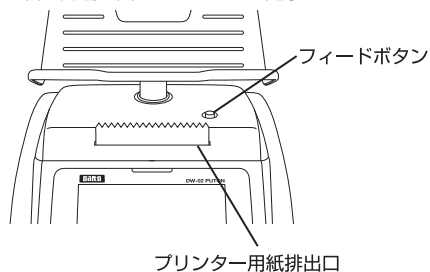
- 1.電源がOFFになっている状態を確認してください。  
本体底面のツメ穴部のツメを抑えながらプリンター  
ユニットを引き抜きます。プリンターユニットが取り  
出せたら、下図のように置き、番号の手順でカバーを開きます。
- 2.下図のように印字面の向きを確認してロール紙を  
セットします。



- 3.ロール紙の先端が少し出ていることを確認し、  
下図の手順でカバーを閉めます。
- 4.プリンターユニットを本体に戻す際、プリンター用紙が  
排出口に出ていることを確認し、下図のように用紙排出口  
からロール紙の先端が出ていればセット完了となります。



プリンター用紙が本体との間に挟まってしまうと、印刷が正常にできない恐れがあります。



- 5.電源を入れてください。  
フィードボタン **●** を押してセットしたプリンター用紙が排紙口から  
正常に出ていることを確認してください。

## 8.計算データ

マイクロSDメモリにて計算データをパソコンに移動することができます。ファイル形式はCSVとなります。

## 9.トラブルシューティング

エラーメッセージ	原因と対処方法
エラー	直前の操作項目に誤りがある可能性があります。 再度同じ設定等を行ってください。
ファンティデス	本体を振動がなく、風やほこりのない、水平で安定した場所に 設置してください。
ジュウリョウオーバー	ホッドに載せている、計数物が約2.1kgを超えている場合に表 示されます。 ホッドに載せる量を調整して再度計数を行ってください。
20マイオーバー	ホッドに載っている紙幣が20枚を超えている可能性があります。 1度に載せる枚数を20枚以下に調整して再度計数を行ってくだ さい。
スウリョウエラー	棒金の計数の際に2本以上同時にホッド上に乗せて計数しよう とする場合、また想定されていない重さのものが載っている 場合に表示されます。1度にホッドへ載せる量を調整して1本 ずつ計数を行ってください。
トウロクサレテイマセン	その他金券等を計数する場合、内容が登録されていない場合 に表示されます。 P17の6-4商品券やはがき、その他券類などの登録、カウント 方法を参考に計数物を登録してください。

## 9.トラブルシューティング

### ■「故障かな?」と思う前に…




以下のチェック項目をご確認ください。

- 充電切れではありませんか?  
→ 本体に、AC電源コードとACアダプターを正しく接続し、コンセント(AC100V電源)に差し込んでください。p.7「4-2充電」をご参照ください。
- ホッドにケーブルがさわっていませんか?  
→ ケーブルをはなしてください。
- ホッドにスcoopを載せたまま、電源を入れていませんか?  
→ 電源を切り、ホッドに何も載せずに電源を入れなおしてください。  
それでも誤計数が起きる場合は、P8「4-4スcoop重さ登録方法」をご参照の上、再度スcoopの重さ登録を行なってください。
- エアコンの風が当たっていませんか?  
→ 風の当たらない場所へ、本体を移動してください。
- 不安定な場所に設置していませんか?  
→ 水平で安定した場所へ、本体を移動してください。
- 異なる金種が混ざってカウントしていませんか?  
→ 金種を選別してカウントしてください。
- カウント時、数回に分けてホッドから降ろしていませんか?  
→ ホッドに載せたカウント対象は、1度に降ろしてください。 ※棒金は除く
- 硬貨や紙幣に破れや削れ、また濡れ、ゴミやテープ等が付着していませんか?  
→ 破れや削れ、濡れ、ゴミやテープ等の付着した硬貨や紙幣はカウントしないでください。  
重さに差が生じ、誤計数の原因となります。  
「紙幣の重さは1枚で約1グラムですが、湿度などの状態によって若干異なります。」  
※日本銀行HPより
- 電源を入れなおして、はじめからカウントしてください。



上記方法で解決しない場合や、上記以外のトラブルが発生した場合は、弊社サービスセンターへお問い合わせください。

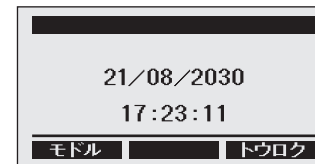
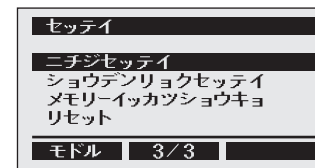
## 10.メンテナンス

### 日時の設定方法

1.メニューキー  を押しメニュー画面から「セッテイ」を選択してOKキー  を押します。「ニチジセッテイ」を選択してOKキー  を押します。

2.▲▼キー  で数字を変更、  
◀▶キー  で年、月、日、時、分、秒を選びます。

3.「トウロク」 キーを押し、ニチジセッテイを完了させセッテイ画面に戻ります。  
設定項目をキャンセルする場合は「モデル」 キーを押し、セッテイ画面に戻ることができます。



## 11.製品保証書

この度は、株式会社タイト製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

取扱説明書に従って正しくご使用ください。

この製品保証書は、株式会社タイト(以下当社という)が以下に定める製品保証規定に基づき、製品の無償修理を行うことをお約束するものです。

製品名・型式：プリンター搭載マネーカウンター オルガII DW-02

保証期間：お買い上げ日より1年間

ご購入日： 年 月 日

修理連絡先：お買い上げ店にご連絡ください。

販売店名： \_\_\_\_\_

### 製品保証規定

●当製品の保証は、製品保証書の保証期間に取扱説明書に従って正常な使用をしていたにも関わらず、故障が発生した場合に無償修理を約束するものです。

●保証期間内の無償修理は、故障製品の代替品を当社からお客様に送付し、故障製品を当社宛に返送していただくことを指します。修理が完了しましたら、再度当社から修理完了品をお客様に送付いたします。また、その際の送料は、全て当社負担とさせていただきます。

●保証期間内であっても以下の項目に該当する場合は、保証の対象外とさせていただきます。

1. 使用上の誤り、又は不当な修理や改造によって生じた故障、損傷
2. 輸送、移動、落下等によって生じた故障、損傷
3. 火災、地震、水害、落雷、その他の天変地異、公害、塩害、静電気、異常電圧等の外部要因によって生じた故障、損傷
4. 浸水、泥、埃、その他異物の混入による故障、損傷
5. 車両、船舶等に搭載されたことによって生じた故障、損傷
6. 消耗部品
7. 製品保証書の字句を不当に書き換えられた場合
8. 本製品の使用によるその他の製品の損害
9. その他合理的事由により、当社が保証対象外と判断した場合

●製品保証書は、日本国内のみで有効です。

## 12.仕様

型 式	プリンター搭載マネーカウンター オルガII DW-02
カウント対象	・ 現在発行の日本円貨幣(紙幣バラ、硬貨バラ、硬貨棒金) ※令和3年発行の新500円硬貨対応 ・ 商品券やハガキ、その他券類等
荷重容量	最大積載量：硬貨：約2.1kg 紙幣：約300枚(バラ紙幣の場合) 金額：999万9999円まで(硬貨・紙幣に関わらず)
1度に載せられる容量	硬貨：200枚(参考：1円硬貨の場合) 紙幣：20枚(上記荷重容量まで続けて載せられます)
表示	合計：99,999,999 (硬貨・紙幣に関わらず)
主な機能	・ オートスクロール機能 ・ 自動加算機能 ・ 自動電源OFF機能(バッテリー使用時に6分無操作の場合) ・ プリンター搭載
印刷用紙サイズ	感熱ロール紙 幅56mm×φ40
内蔵バッテリー	リチウムイオン 8.8V 1350mAh 最大約10時間連続使用可能(約6時間充電)
外形寸法	幅150×奥行225×高さ162mm
重 量	1.53kg
電源電圧	DC12V
ACアダプター	定格入力：AC100V 50/60Hz 定格出力：DC12V 3A
消費電力	動作時 36W

※本製品は改良のため断りなく外観、仕様を変更することがあります。

